

タイムテーブル

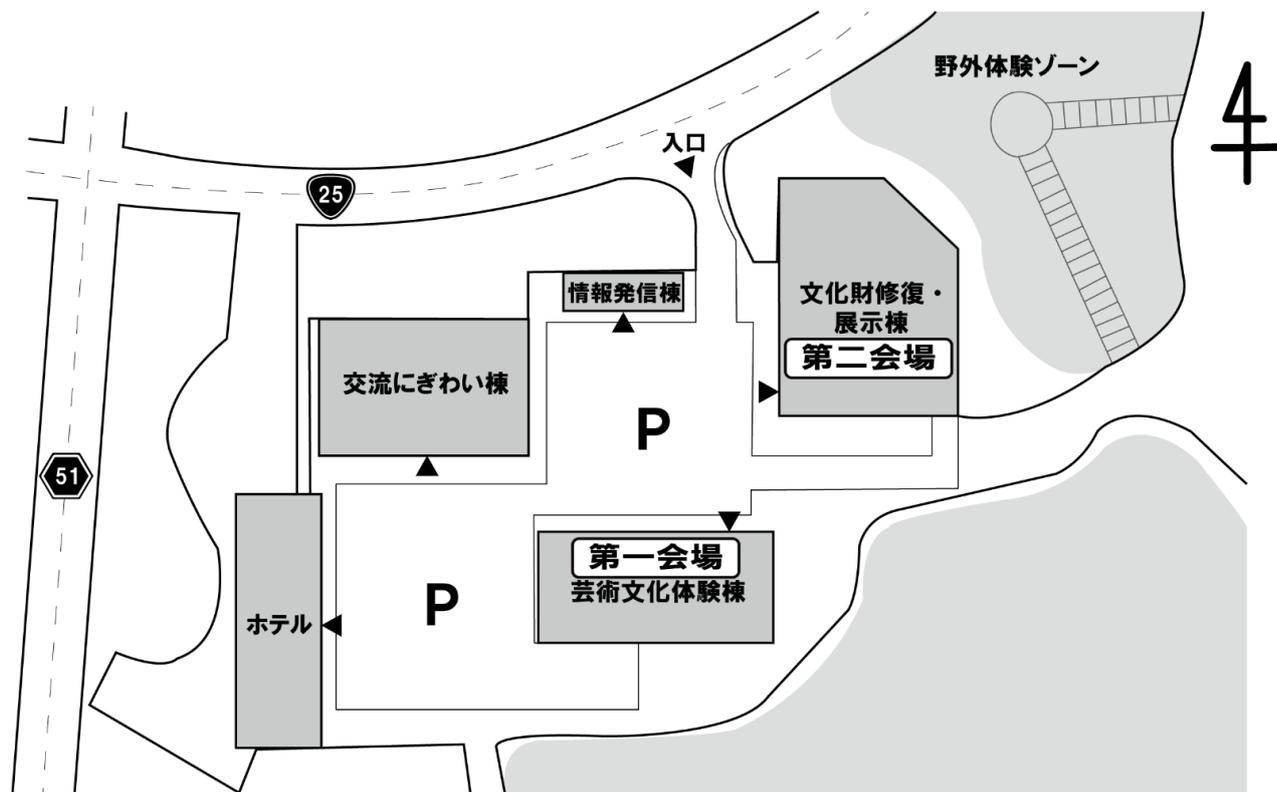
10月20日（金）			
奈良文化財研究所			
	奈文研大会議室201	平城資料館講堂	平城資料館小講堂
14:00		石造物WG	彩色材料WG※
15:00	土器化学分析WG		トレハロースWG
16:00	土器を掘るWG	倫理WG	
17:00			
10月21日（土）			
なら歴史芸術文化村			
		第一会場	第二会場
10:00		開会式	—
10:20		文化財科学一般	保存
11:20		休憩	
11:30	昼休憩・評議会（12：00）	企業セミナー	企業セミナー
13:00	ポスター発表コアタイム （偶数）		
14:00		文化財科学一般	保存
15:40		休憩	
16:00		記念講演	中継サテライト（予定）
18:00		終了	
19:00	懇親会 （天理駅南団体待合所）		
10月22日（日）			
なら歴史芸術文化村			
		第一会場	第二会場
9:30		文化財科学一般	古環境・産地・文化財防災・ 材質・技法
10:50		休憩	
11:00	ポスター発表コアタイム （奇数）		
12:00		昼休憩	
13:00		表彰・意見交換会	
14:00		年代測定	材質・技法
15:20		休憩	
15:30		閉会行事	—
15:40		終了	

※変更の場合があります。大会 Web サイトにて確認ください。

2. 口頭発表形式

なら歴史芸術文化村会場での発表とします。口頭発表：1件18分以内（発表15分、質疑3分）です。入れ替え時間などを含めて20分になります。液晶プロジェクターとスクリーンをご使用いただけますので、データを発表当日のセッション開始前までにプレゼンテーション用のコンピューターに入れておいてください。データはPPT形式あるいはPDF形式を基本とします。なお、動画などの関係でご自身の環境、コンピューターにて発表の希望がございましたら、事前にご相談ください。

会場は第一会場（芸術文化体験棟ホール）、第二会場（文化財修復・展示施設棟展示室）となります。発表時間は21日10:20-11:30、14:00-15:40 および、22日9:30-11:00、14:00-15:20 になります。プログラムにて発表会場を確認ください。



なら歴史芸術文化村 会場配置図

3. ポスター発表形式

なら歴史芸術文化村会場での発表とします。コアタイムとして発表番号偶数の方は21日13:00-14:00、発表番号奇数の方は22日11:00-12:00を予定しております。両日入れ替え制です。会場は芸術文化体験棟二階交流ラウンジおよびセミナールームを予定しております。

ポスターパネルは幅900mm、縦1800mmを予定しております。パネル内に収まる形で準備ください。

※本年度のポスターセッションは21日と22日で完全入れ替え制ですのでご注意ください。

ポスター掲示：両日当日コアタイム開始までに掲示してください。22日発表の方は21日発表者の撤収終了後から掲示いただけます。

ポスター回収：21日は18:00までに回収してください。22日は15:30までに回収してください。

4. 参加登録

参加登録は大会Webサイトよりお申し込みください。原則、当日の受付はいたしませんので、ご了承ください。

なお、21日19:00より天理駅南団体待合所を会場に懇親会を開催いたします。こちらにつきましては当日の申し込みも受け付けいたします。酒造メーカーと連携した企画を計画しておりますので、是非ご参加ください。

5. 大会会場・日程

20日(金)：奈良文化財研究所本庁舎・平城宮資料館講堂・小講堂(奈良県奈良市二条町2-9-1他)

21日(土)・22日(日)：なら歴史芸術文化村(奈良県天理市杣之内町437)

※なら歴史芸術文化村につきましては、7.会場アクセスについて もご参照ください。

6. ワーキンググループ会議

以下のワーキンググループ会議を開催いたします。

【本庁舎大会議室201】15:00-16:00

第7回土器科学分析ワーキンググループ

企画者：西田泰民・村本周三・白石哲也・福井淳一・宮内信雄・堀内晶子・小澤仁嗣・吉田邦夫

概要：第7回目は、土器に付着したり、土器に包埋された炭化物でなく、土器胎土に染みこんだ脂質を使った最新の土器の年代測定に関して考えてみたいと思います。当日は、この研究手法で博士号を取得されたエマニュエル・カサノバ博士(東京大学総合研究博物館 JSPS 研究員)をお招きする予定です。

【本庁舎大会議室201】16:00-17:00

土器を掘る-22世紀型考古資料学の構築と社会実装をめざした技術開発型研究

企画者：小林謙一・小畑弘己・國木田大

概要：本研究は、圧痕レプリカ、X線CT法、脂質分析、付着物の同位体分析などにより、全国に保管されている土器から新しい情報を発掘し、より詳細な社会と人々の暮らしと精神性を復元する「土器総合分析学」を目指す。

【平城宮跡資料館講堂】14:00-16:00

石造文化財の保存修復ワーキンググループ

企画者：脇谷草一郎

概要：石造文化財の保存修復に関する取り組み事例、保存修復手法、それぞれの現場での課題などを報告し合い、専門家同士の自由な意見交換により問題の解決へと進める。

【平城宮跡資料館講堂】16:00-17:00

科学調査の倫理観ワーキンググループ

企画者：大西智洋・杵名貴彦・鳥越俊行・比佐陽一郎・松井敏也

概要：第2回目の開催となります。文化財の破壊、非破壊調査は判断基準が明確でない部分もある。出土鉄製品の調査では大きな問題となったことから、様々な立場の研究者が議論し適切な文化財調査の方法について分野や世代間の認識のすり合わせを図る。

【平城宮跡資料館小講堂】14:00-15:00 ※

彩色材料分析ワーキング

企画者：北野信彦(龍谷大学)、谷口陽子(筑波大学)、降幡順子(京都国立博物館)、青木智史(奈良教育大学)

概要：本WGでは、彩色材料分析に焦点を絞り、様々な科学調査の結果を議論することで調査結果の情報共有を図るとともに、課題や解釈に関する問題点を明らかにし、彩色材料調査に反映させていく。

※話題提供者の予定で会場および開催時間が変更になる場合があります。詳細は近日中にホームページ等でお知らせいたします。

【平城宮跡資料館小講堂】15:00-16:00

トレハロース法実践研究会

企画者：伊藤幸司・小林啓・澤田正明・安木由美

概要：トレハロース法の研究・実践は海底遺跡出土遺物への適用を可能にするなど新たな展開を向かえている。

当WGではトレハロース法研究の経緯や展開、成果を改めて確認し、理解の深化、情報の更新・共有化を図る。

7. 会場アクセスについて

なら歴史芸術文化村は、最寄り駅の JR/近鉄天理駅よりやや離れた場所に所在しております。
21・22 日両日の朝および夕を中心に、天理駅から会場までのマイクロバスによる送迎を予定しております。
運航予定や乗り場などの情報につきましては、大会 Web サイトにて確定次第お知らせさせていただきます。
会場の位置・アクセスについてはこちらのサイトをご参照ください。

<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/access-map/>

また、上記サイトの奈良交通直通バス（天理駅発 7：23、7：58、8：33／文化村発 17：35、18：04、18：35、19：13、19：44）および直行デマンドシャトル（9：00～16：00 まで。要予約）もご利用ください。

また、お車でお越しの際は、学会用の駐車場を設定いたしますので、ご利用ください。

詳細につきましては大会サイトでお知らせする予定です。

奈良文化財研究所は、本庁舎および平城宮跡資料館講堂・小講堂になります。近鉄大和西大寺北口より東に徒歩 15 分です。道を挟んで隣接しております。

奈良文化財研究所本庁舎：<https://maps.app.goo.gl/sV6LVEEuTHNGczzk9>

平城宮跡資料館：<https://www.nabunken.go.jp/hei-jo/museum/>

8. 企業セミナー、機器・商品等紹介

企業や団体の方にデモやプレゼンテーションを実施していただきます。

企業セミナーは 21 日に第一・第二会場にて実施いたします。以下の企業様にセミナー開催を頂きます。

21 日

第一会場：大塚オーミ陶業株式会社 12：00-13：00

「ワット・ラチャブラナ」壁画（チャオ・サン・プラーヤー国立博物館）の陶板による複製

2011 年 10 月にタイ・アユタヤで発生した大洪水により水没し退色が進行している「ワット・ラチャブラナ」地下聖堂の壁画を、洪水前の画像をもとに行った複製事業を報告し、セラミックアーカイブの可能性について紹介したい。

第二会場：OM デジタルソリューションズ 11：30-12：30

『深度合成/ハイレゾショット/赤外線/3D 撮影』

文化教育領域における撮影課題解決に向けた 3 つの製品をご紹介します。

いずれもワークフロー改善と、業務属人化防止を低コストで実現いたします。

機器・商品等紹介は会場にて実施いたします。以下の企業様に御出展頂きます。

光明理化学工業株式会社 富士シリシア化学株式会社 株式会社 GRIPS コメットテクノロジーズ・ジャパン株式会社

丸紅情報システムズ株式会社 国立文化財機構文化財防災センター 株式会社パレオ・ラボ

KYOTO'S 3D STUDIO 株式会社 カールツァイス株式会社 (株) ハイロックス OM デジタルソリューションズ株式会社

大塚オーミ陶業株式会社 株式会社三ツワフロンテック アイクオーク株式会社 ピーエス工業株式会社

Kei PS create 株式会社、有限会社平電子印刷所（順不同・申し込み順）

9. 大会組織

委員長：青柳正規（奈良県立橿原考古学研究所長）

副委員長：本中眞（奈良文化財研究所長）

事務局長：金田明大（奈良文化財研究所）

実行委員：奥山誠義、青木智史、岡見知紀、片岡太郎、杉山智昭、中村力也、橋本英将、宮路淳子、森井順之、山田哲也、上條信彦、高妻洋成、日高真吾、建石徹、脇谷草一郎、神野恵、山口欧志

協力委員：塚本敏夫、山崎健、庄田慎矢、丹羽崇史、星野安治、田村朋美、柳田明進、松田和貴、村上夏希、小谷竜介、中島志保、河崎衣美、小倉頌子、中尾真梨子、小峰幸夫、鶴真美

【申し込み・問い合わせ先】

日本文化財科学会第 40 回記念大会実行委員会事務局

金田明大（奈良文化財研究所）

真鍋彩由美（奈良文化財研究所）

担当窓口：奈良文化財研究所埋蔵文化財センター遺跡・調査技術研究室

[TEL:0742-30-6843](tel:0742-30-6843)

実行委員会メール：jssscp2023@gmail.com